

自己紹介 はじめに

1 老子

「心が鎮まる道教の教え」

編者；ウォン・フゼン 、オウ・フクシ
訳者；うえしまみのる
日本能率協会マネジメントセンター

第一章 道に従って生きる

第三章 無為の心をもって国を治める

第五章 多弁よりも虚心がいい

第六章 道のはたらきは永遠に続く

第七章 自分を捨てる、自分が生きる

第八章 水のように自然体で生きる

そのほか

2 古代中国の仙人

仙人とは何か、仙人と民衆。

3 孔子論語より

「声に出して読みたい論語」

斎藤たかし著 そうし社

7 知っていることと知らないことの峻別を。

18 いま、汝はかぎれり

26 この道、一筋。

30 悶々と悩み続ける人は、学びをつかむ。

32 私は物事の道理がわからず、道理を求めてきた。

33 怪力乱神を語らず

2015年現在までのプロフィール

山口 通 (やまぐちとおる)
哲学冒険家 全盲のコメンテーター 篠笛奏者
全国視覚障害教師の会 代表(2002年～2010年)
日本哲学会
日本思想史研究会 一橋大学に事務局

1949年(昭和24年)、疎開先の千葉県鴨川で生まれる。
ゼロ歳で、東京へ家族とともにもどり、台東区根岸に遊ぶ。
人間的で、素敵な先生がた、愉快的仲間たちと出会う。
私立聖橋工業高校機械科を卒業後、社会人、営業マンに。
その後、駒沢大学文学部社会学科を卒業。兄弟姉妹が多く、そのため牛乳配達のアルバイトで大学の学費を捻出。
東京都教員採用試験、高等学校「倫理・社会」に合格。
教員歴、36年。立川高校 定時制および全日制で講師→工芸高校→小平高校。

41歳のとき、難病により中途失明。

リハビリテーションの力、生徒たちの力、同僚の力、ボランティアの力、そして家族の支え、これらの五つの力により、職場復帰。

それから25年。

教員生活の前半18年を晴眼で、後半18年を視覚障害者として授業展開。

都立高校に籍を置きながら、養護学校、私立中学・高校、公立小学校・中学・高校、看護専門学校、保育専門学校、国立大学、私立大学、公立図書館、少年院、交通刑務所、刑務所などで、おもに哲学教育・哲学入門、障害論・障害者論、リハビリテーション論、教育論等を講義、講演。

現在、全国の視覚障害教員の皆さんの相談活動および講義、講演活動中。

メディア

NHK「ラジオ深夜便」 『輝いて生きる』
NHKテレビ 「福祉ネットワーク」
NHKテレビドラマ「チャレンジド」の取材および出演。
NHKラジオ、視覚障害者関連番組出演およびコメンテーター

主な著書

共著「教壇に立つ視覚障害者たち」 全国視覚障害教師の会編
共著「中途失明 2 陽はまた登る」 タートルの会
共著「ガイドブック 視覚障害者の『働く』を支える人々のために」 認定NPO法人 タートル
共著「中途失明 3」 認定NPO法人 タートル

2015年12月 出版予定

「おもしろ哲学 未華の冒険」 本の泉社
「続 おもしろ哲学 未華の冒険」 本の泉社

その他

論文「障害から『障生』へ」、「障害は個性なのか」など